

救急蘇生法の指針2020（市民用）

竹田市消防本部 救急係

救急蘇生法の指針2020の**主な変更点**

主な変更点等は、**追加が4つ**および**変更が1つ**

追加①: 発見時の対応手順

傷病者発見時の対応手順において、反応がない場合のほか、反応があるか、ないかの判断に迷う場合、又はわからない場合も、**心停止の可能性のあるものとして行動**する
(その場で、大声で叫んで応援を呼ぶ)

救急蘇生法の指針2020の主な変更点

追加②：通報時の口頭指導

119番通報時、**通信指令員から行うべきことの指導**を受けることができる（電話のスピーカー機能等を活用すれば、通信指令員の**口頭指導を受けながら**胸骨圧迫を行なうことができる）

追加③：呼吸の確認と心停止の判断

「普段どおりの呼吸か、どうか」**判断に迷う**場合、または、わからない場合も、**心停止と判断して胸骨圧迫を開始する**

救急蘇生法の指針2020の**主な変更点**

追加④: 電気ショックと心肺蘇生の再開

ショックボタンを押さなくても自動的に電気が流れる機種あり

※オートショックAED

変更①: 電極パッドの貼り付け

「小児用パッド・モード」が「**未就学児用パッド・モード**」へ

「成人用パッド」が「**小学生～大人用パッド**」へ名称変更

※ **未就学児パッド**を小学生や中学生に使用しない

今後の救急講習について

新型コロナウイルス感染症流行期の一次救命処置の手順に沿って実施する

【基本的な考え方】

- 胸骨圧迫のみの場合を含め、心肺蘇生はエアロゾルを発生させる可能性があるため、新型コロナウイルス感染症が流行している状況においては、**すべての心停止傷病者に感染の疑いがあるもの**として対応する。
- 成人の心停止に対しては、**人工呼吸を行わず**に胸骨圧迫とAEDによる電気ショックを実施する。
- **子どもの心停止**に対しては、講習を受けて人工呼吸の技術を身につけていて、人工呼吸を行なう意思がある場合には、**人工呼吸も実施**する。

新型コロナウイルス感染症流行期の 一次救命処置の手順

①安全の確認

- ・ 自分がマスクを正しく装着していることを確認する
- ・ 人数に余裕がある場合、通報や救命処置を行わない人は、窓を開けるなど部屋の換気を行ったり、多人数で密集しないように配慮する

新型コロナウイルス感染症流行期の 一次救命処置の手順

②反応の確認

- 顔をあまり近づけすぎないようにして、傷病者の肩を優しくたたきながら大声で呼びかける

③119番通報・AEDの要請

- 非流行期と同様に対応する
- ※AED使用によるエアロゾル発生に伴う感染のリスクは高くない

新型コロナウイルス感染症流行期の 一次救命処置の手順

④呼吸の観察

- ・ 呼吸を確認する際に、顔をあまり近づけないようにする

⑤胸骨圧迫

- ・ 傷病者がマスクをしていれば、外さずそのままにして胸骨圧迫を開始する
- ・ 傷病者がマスクをしていなければ、胸骨圧迫を開始する前に、マスクやハンカチ、タオル、衣服などで傷病者の鼻と口を覆う

新型コロナウイルス感染症流行期の 一次救命処置の手順

⑥人工呼吸

- 成人には、人工呼吸は行なわず胸骨圧迫だけを継続する
- 小児には、講習を受けて人工呼吸の技術を身につけていて、人工呼吸を行なう意思がある場合には、人工呼吸も実施する

⑦AEDの使用

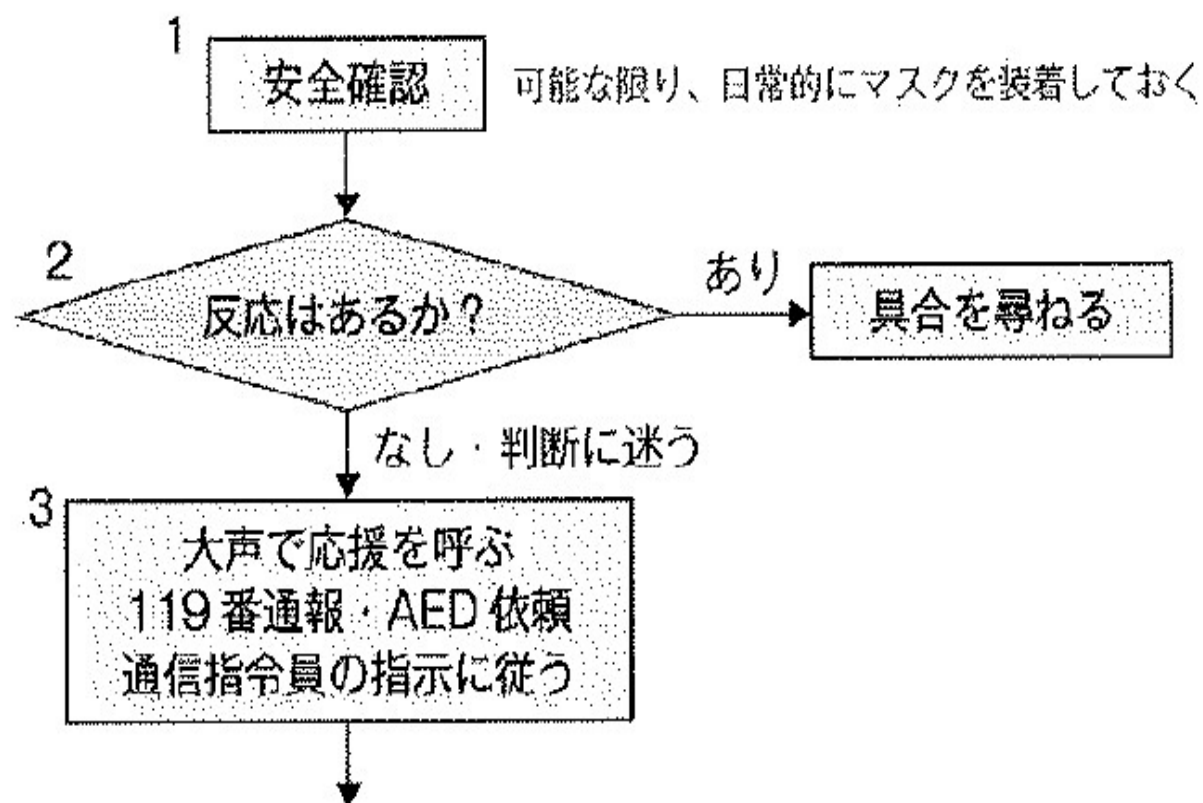
- 非流行期と同様に対応する

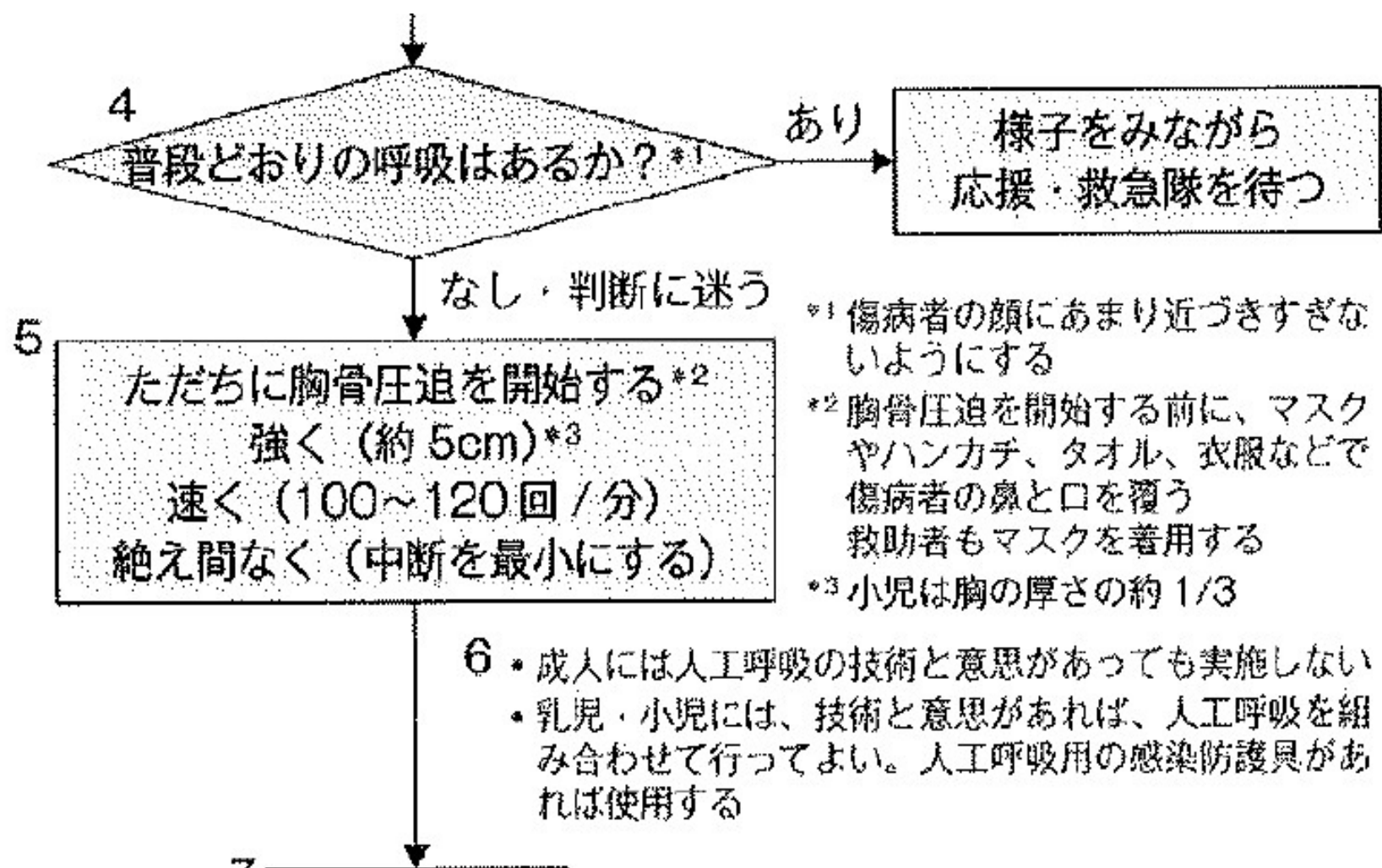
新型コロナウイルス感染症流行期の 一次救命処置の手順

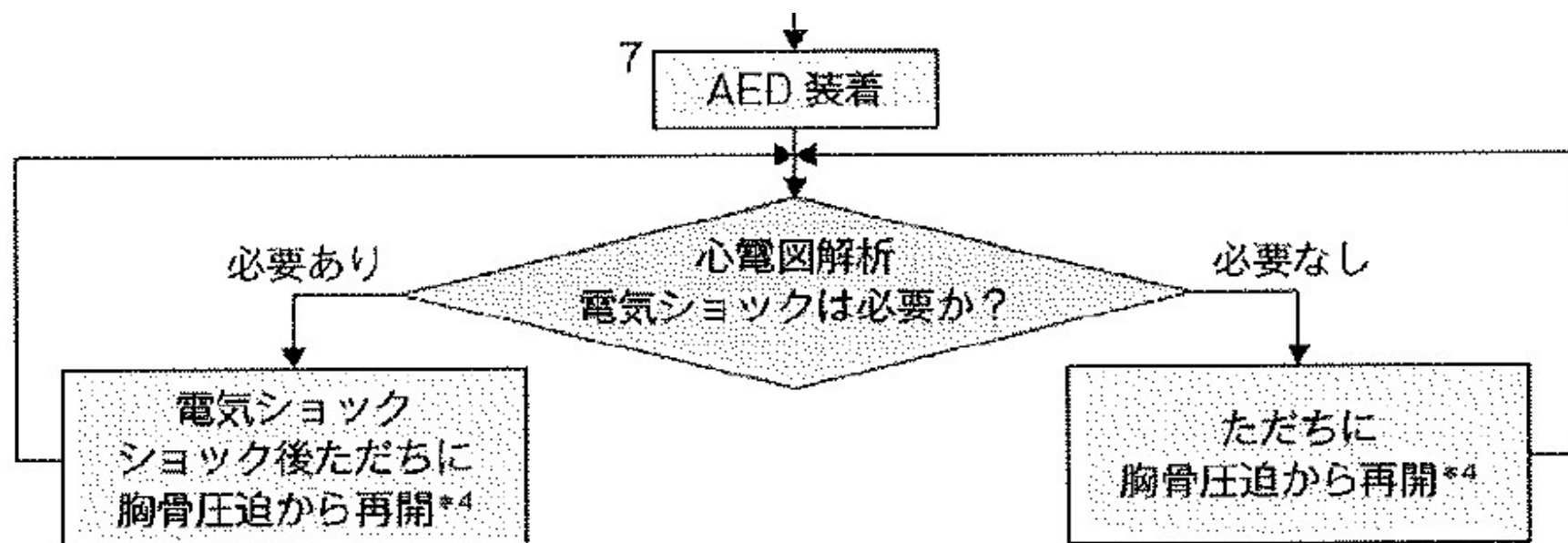
⑧救急隊への引き継ぎ後の対応

- 傷病者を救急隊に引き継いだ後は、すみやかに石鹸と流水で手と顔を洗う
- 手を洗う、または、消毒するまでは、不用意に首から上や周囲を触らない
- 傷病者に使用したマスクやハンカチは、直接触れないようにして廃棄する

主に市民が行う新型コロナウイルス感染症流行期の一次救命処置の手順







*4 強く、速く、絶え間なく胸骨圧迫を！

8

救急隊に引き継ぐまで、または傷病者に普段どおりの呼吸や
目的のある仕草が認められるまで続ける

救急隊の到着後に、傷病者を救急隊に引き継いだあとは、
すみやかに石鹸と流水で手と顔を十分に洗う

オートショックAED

- 電気ショックが必要な場合に、ショックボタンを押さなくても自動的に電気が流れる機種(オートショックAED)が2021年7月に認可された
- 傷病者から離れるように音声メッセージが流れ、カウントダウン、または、ブザーの後に自動的に電気ショックが行われる
- **救急講習の実施**にあっては、
 - 「1.ショックボタンを有するAEDとオートショックAEDの**相違点**」
 - 「2.オートショックAEDの**使用上の注意点**」を踏まえた内容とするように通知されている。

オートショックAEDに関する質疑応答

Q. オートショックAEDとは何か？

A. 電気ショックが必要な傷病者に対して、救助者がショックボタンを押す必要が無く、自動で電気ショックが行われる機械のこと

オートショックAEDに関する質疑応答

Q. オートショックAEDを使用するために特別な資格や講習を受講する必要があるのか？

A. 特別な資格や講習は必要ないが、安全に使用するために可能な限りオートショックAEDの取り扱いを含む講習を受講することが望ましい

オートショックAEDに関する質疑応答

Q. なぜオートショックAEDが必要なのか？

A. 電気ショックが必要な状態であるにも関わらず、様々な理由から電気ショックが行われていない事例が存在するため、オートショックAEDが普及することで、必要な傷病者に確実に電気ショックが行える可能性があります

※救助者の精神的な負担の軽減が期待される

オートショックAEDに関する質疑応答

Q. 一般的なAEDとオートショックAEDを見分ける表示はある？

A. 見やすい箇所にオートショックAEDのロゴマークが表示されています。



オートショックAEDに関する質疑応答

Q. オートショックAEDはどのような場所に設置されているか？

A. 使用者と場所を限定し、一定程度トレーニングを行なったものが勤務する場所に設置される予定

しばらくの間は、不特定多数の救助者が想定される場所（デパート、駅、空港等の公共施設）に設置しない方針

オートショックAEDに関する**質疑応答**

Q. 電極パッドを貼付後、傷病者に痙攣や体動があった場合若しくは他者が体に触れているのを視認した場合など、心電図の解析や電気ショックを途中で**強制停止**するような**ボタン**はあるのか？

A. 強制停止（キャンセル）**ボタン**はない
電源を切ることで強制停止してください